

男性助産師のケア配慮に関する調査と母子保健事業の視察 キプロス共和国 ニコシア地区 リマソール地区 2018年2月28日-2018年3月7日

三宮 柁名 看護学コース4年

渡航先での活動内容

地図出典 <http://www.2m.biglobe.ne.jp/ZenTech/world/map/Cyprus/index.htm>

【キプロス基礎情報】

- ・EU加盟国
- ・人口120万人
- ・帝王切開率56.9% (世界最高値)

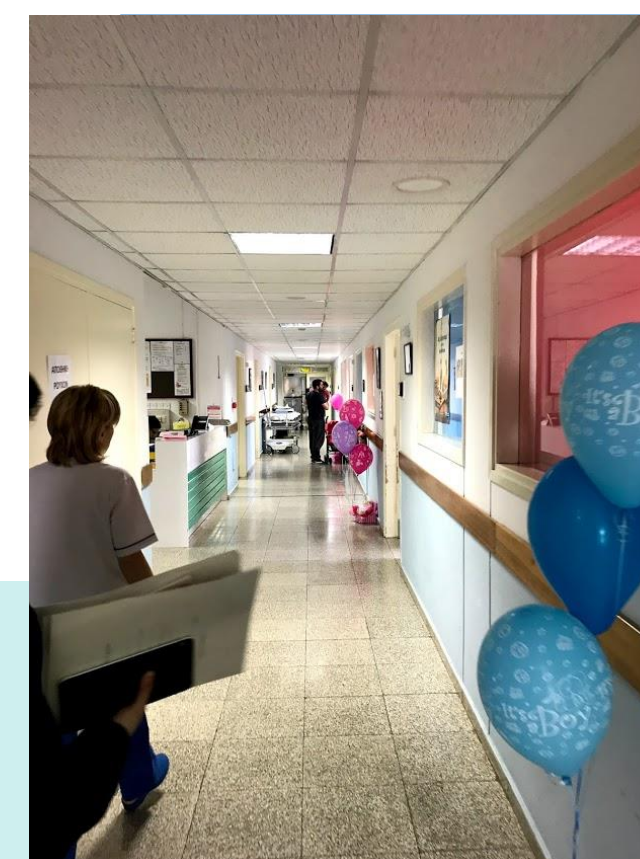
・国が南(ギリシャ系)と北(トルコ系)に分離しており、現在休戦中である



南キプロス

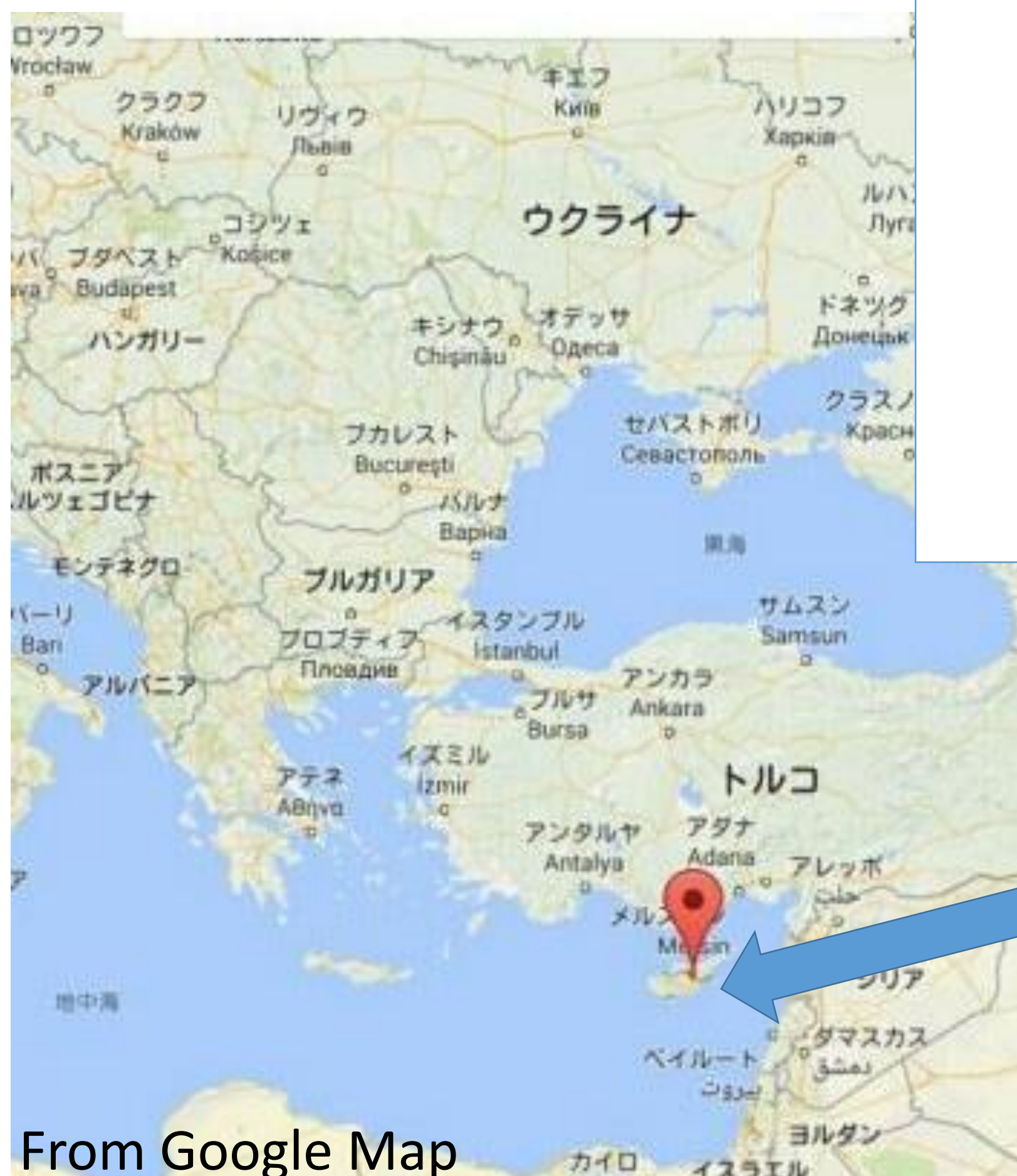


北キプロス

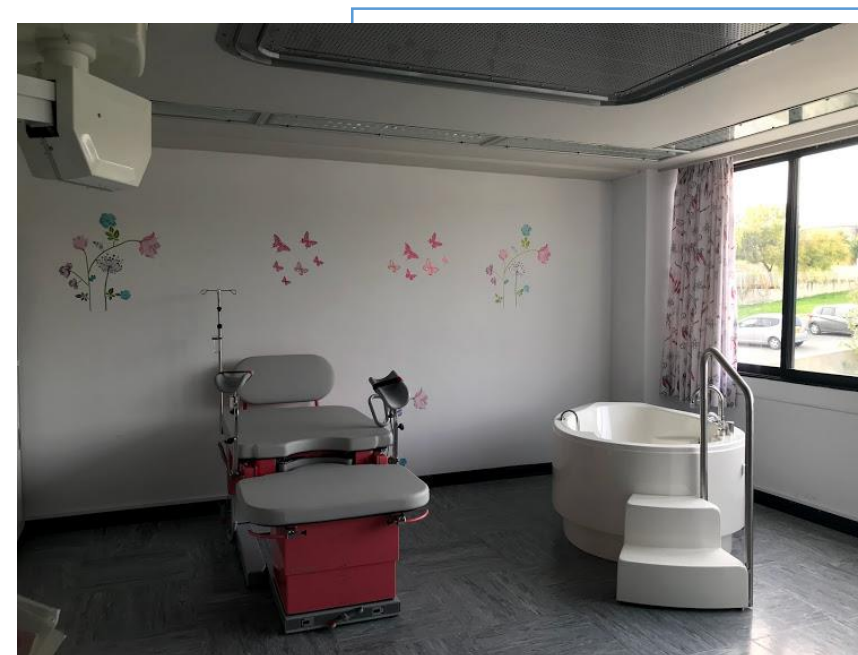
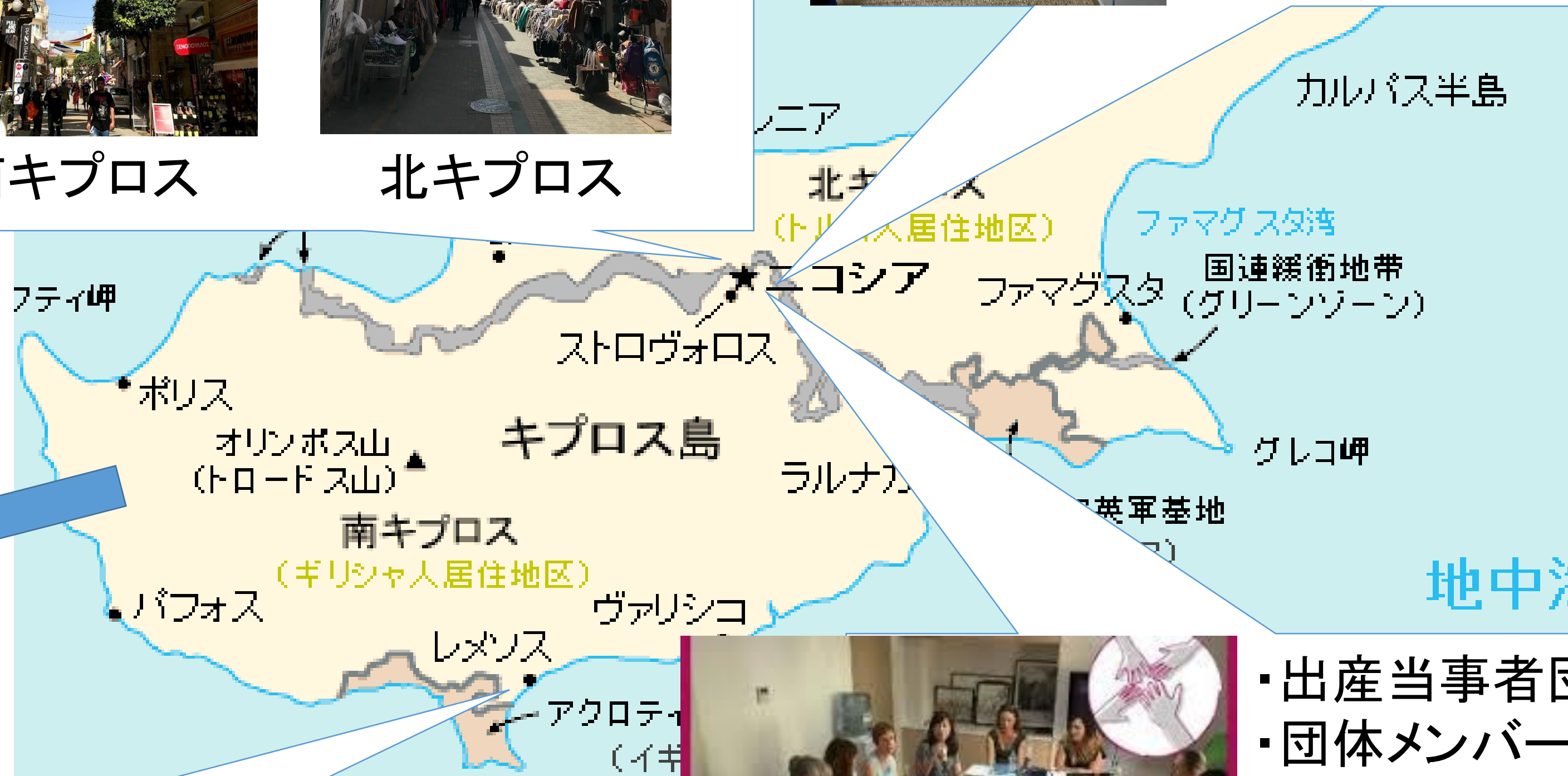


・マカレオス3世病院見学
・助産師会会長インタビュー (写真左の方)

Natural Birth Campaign
の詳細に関して説明を受けた



From Google Map



・リマソール総合病院見学
Natural Birthのパイロット試験対象病院であり、それに向けた活動について説明を受けた



・出産当事者団体の訪問
・団体メンバーインタビュー

現地の出産経験について話を伺った

その他の活動

- ・男性助産師6名へのインタビュー
- ・現地で出産した日本人2名へのインタビュー
- ・育児支援団体へのインタビュー
- ・出産育児用品の展覧会見学



目的を達成できたか

男性助産師6名へのインタビューを行い、現地の母子保健事情の実際について情報を得ることができた。インタビューデータは非常に豊かなものであり、目的を達成できた。

グローバルな視点とは何か

他国と比較しながら、現状を分析できる能力だと考える。熱い好奇心と冷静な知性を融合することで、この視点は更に研ぎ澄まされると感じました。

目的以外に学んだ点、反省点

- ・先進国の出産環境の変革が非常に難しい。
- ・データと現実が示すことに隔たりがある。
- ・「出産のヒューマニゼーション」の言語化と戦略の構築が今後求められる。

後輩へのアドバイス

- ・先進国ではあるものの、地域によっては治安が悪いところもあります。安全管理を十分にした上で研修を行うことをお勧めします。
- ・ボイスレコーダーなどを持っていくと、インタビューの聞き逃しが防げるので、お勧めです。

将来の進路決定へどう影響したか

男性助産師は、出産や女性性経験を体験できない為、独自の助産観・実践を行う傾向にある。彼らの培った技や知恵は女性助産師にも援用可能であり、助産ケアの質向上に為にも更なる調査が必要である。今後も取り組んでいきたい課題の一つである。

研修支援制度に望むこと

- ・看護師国家試験や卒業論文など同時並行で研修計画を立てるのは、非常に難しかった。研修に行けるかどうか、もう少し前(研修実施予定日の半年前程度)に分かるとよかった。